

内閣承認人事(外務省)

内閣人第
七〇号

起案

令和二年六月八日

決定	令和二年六月一九日
上奏	令和二年六月一日
裁可	令和二年六月一日

施行

令和二年六月一日
令和二年六月一日

内閣総理大臣

野田

内閣官房長官

玉直

内閣官房副長官

玉直

内閣総務官

原

麻生 国務大臣

加藤 国務大臣

河野 国務大臣

竹本 国務大臣

高市 国務大臣

江藤 国務大臣

衛藤 国務大臣

田中 国務大臣

森 国務大臣

梶山 国務大臣

北村 国務大臣

西村 国務大臣

茂木 国務大臣

赤羽 国務大臣

菅 国務大臣

橋本 国務大臣

萩生田 国務大臣

小泉 国務大臣

武田 国務大臣

内閣承認人事

各府省幹部職員の任免について、別紙のとおり承認することとした。

内閣

(外務省)

バヌアツ国駐節を免ずる

(フィジー国兼キリバス国ツバル国ナウル国バヌアツ国駐節) 特命全権大使 大 村 昌 弘

(6月19日付発令予定)

外人第5715号
令和2年6月17日

内閣総理大臣 安倍 晋 三 殿

外務大臣 茂 木 敏 充



内閣承認人事について

外務省人事につきましては、別紙のとおりとしたいので、内閣の承認を求めます。

外務省

(フィジー国兼キリバス国ツバル国ナウル国バヌアツ国駐節) 特命全権大使 大 村 昌 弘

バヌアツ国駐節を免ずる

(6月19日付発令予定)

略 歴

氏 名 おおむらまさひろ
大 村 昌 弘

性 別 男

生年月日 昭和30年9月19日生

最終学歴 東京大学法学部第二類卒業（昭和55年3月）

採用試験 昭和54年外務公務員採用上級試験

出身地 東京都

研修語学 米語

昭和55. 4 外務省入省

62. 7 経済局 課長補佐

平成 元. 10 大臣官房領事移住部邦人保護課 首席事務官

5. 8 在インドネシア日本国大使館 一等書記官

7. 9 大臣官房付

10. 6 経済協力開発機構開発協力局援助政策審査課長（フランス国パリ）
総合外交政策局総務課企画官
兼中近東アフリカ局（第二回アフリカ開発会議事務局準備室長）（～10.10）

12 中近東アフリカ局アフリカ第二課長

12. 3 大臣官房 （財）日本国際問題研究所主任研究員

15. 3 在ウィーン国際機関日本政府代表部 参事官

17. 8 在ケニア日本国大使館 参事官

18. 7 在ケニア日本国大使館 公使

21. 1 内閣府事務官 経済社会総合研究所上席主任研究官

23. 9 人事院公務員研修所副所長

25. 7 在シアトル日本国総領事館 総領事

29. 6 特命全権大使 フィジー国兼キリバス国ツバル国ナウル国
バヌアツ国駐劄